

北陸地域未来戦略検討会 スギノマシン プレゼン資料



SUGINO
SUPER! TECHNOLOGY

企業という存在

必要とされなければ存在し得ない

- 存在している = 必ず誰かに必要とされている
- 生き残り続けているだけでも評価されるべき事
- 貴賤は無い

社会の歯車であることを誇りに

- 何万個の部品から成り立っている装置も歯車一つ欠ければ動かない
- 「歯車」とは、絶対に必要なパーツ
- 「社会の歯車」 = 社会に欠かせない存在

利益の意味

技術で世の中に貢献することがSMLGの存在意義

利益は、世の中に必要とされた証
利益率は、そのバロメータ



世の中に貢献した結果としての高い利益率

会社概要

資本金	23億2,467万5,000円
社員数	1,000名（グループ ^o 連結1,400名）
本社所在地	富山県滑川市
事業内容	工作機械、産業機械、原発関連機器、ロボット、 極細繊維素材等の開発・設計、製造、販売
創業	1936年(昭和11年)3月1日
国内製造拠点	富山（早月・滑川） 静岡（掛川）
国内営業拠点	東京・水戸・富山（早月・滑川） 掛川・名古屋・大阪・広島・福岡

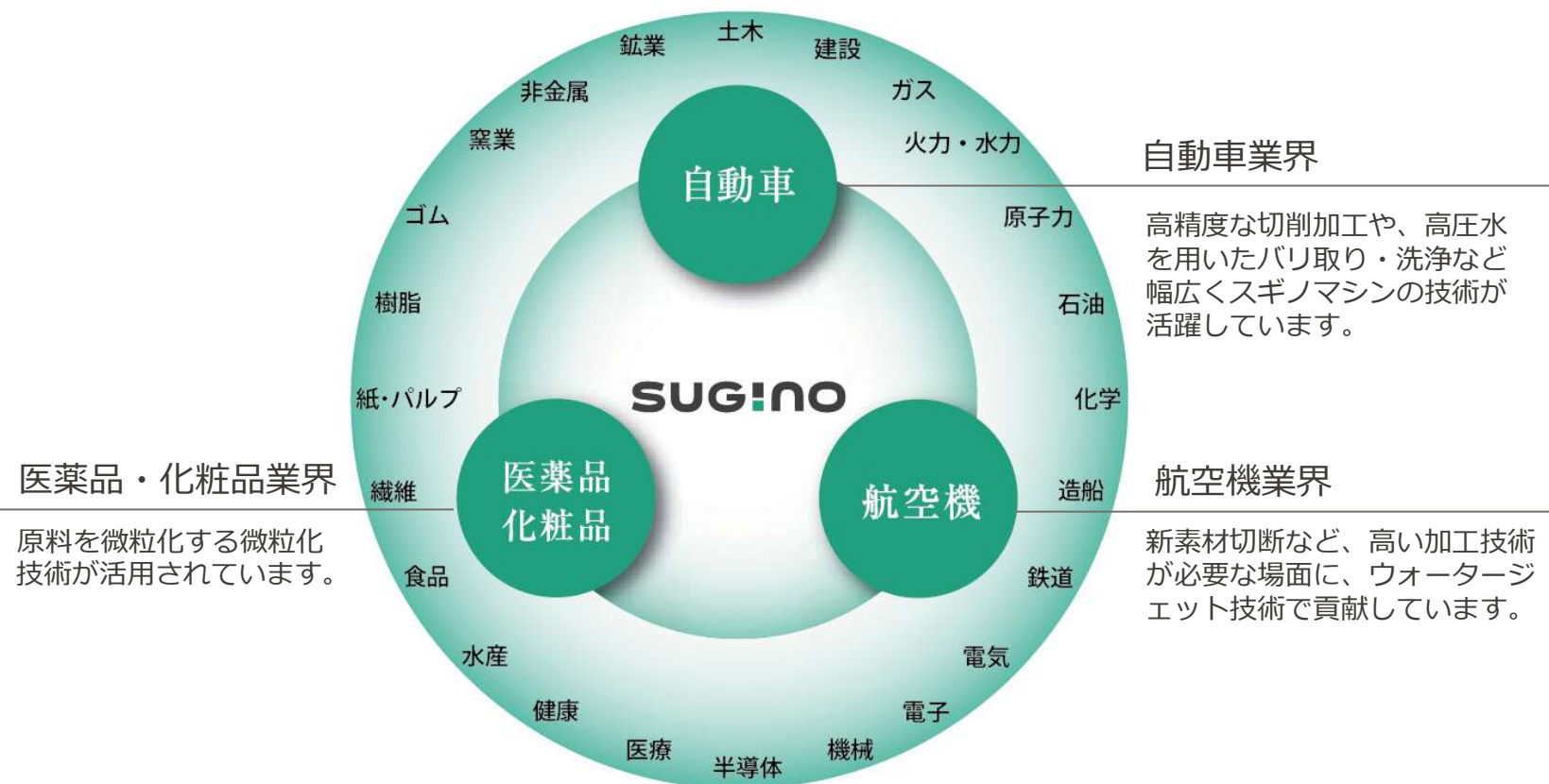
グローバルネットワーク

Sugino Global Network

グループ会社 9 カ国
40カ国以上の代理店ネットワーク



事業領域



特徴①

- 創業以来**赤字無し**
- 常時**5,000社以上**と取引（都度取引は数万社）
- **高利益**体質

特徴②

- 売上額の **50%** は **海外**
- 生産額の **90%** は **日本**
- 全て **地方都市（ローカル）** から

戦略：スギノVISION

Glocal Niche Leader

グローバルニッチリーダー

スギノマシンの「超」技術

切る

- ・ 超高压水切断装置
- ・ 超高压水発生装置



削る

- ・ ドリリングユニット
- ・ タッピングユニット
- ・ 小型マシニングセンタ



洗う

- ・ 高压水バリ取り洗浄機
- ・ はくり・はつり用機器



磨く

- ・ 鏡面仕上工具・装置
- ・ 拡管工具



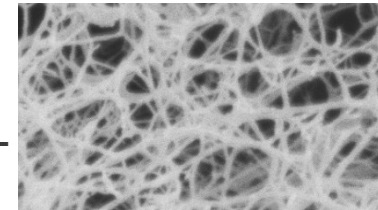
砕く

- ・ 湿式微粒化装置
- ・ 乾式粉碎機

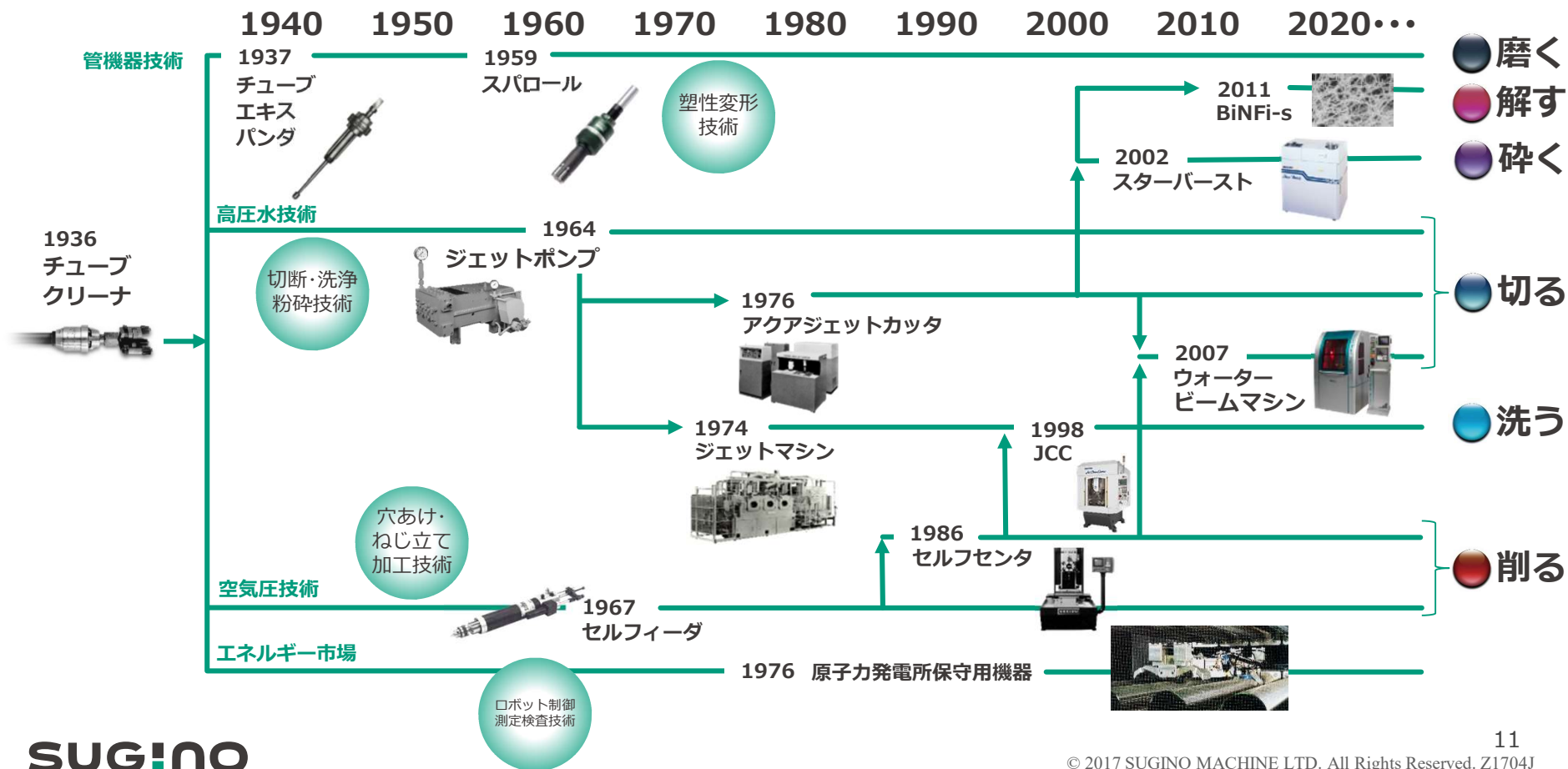


ほぐ 解す

- ・ バイオマスナノファイバー



商品開発の連鎖



超技術を生んだスギノマシンのDNA

自ら考え、自ら造り、
自ら販売・サービスする

「！」の意味するところ



常に一步先の技術 = 「超技術」を追い求め、
お客様の期待を超える、
驚きと感動を提供し続ける。

必然経営

我々は、超技術から導き出される、「SMLG（スギノシングループ）としてやるべき商品開発・製造」と「SMLGとしてやるべきビジネス」を**ファクトベースのロジカルシンキング**で判断し、熱意をもって実行する。個々の業務においても、「その行為、その判断は『必然』といえるか」を常に意識し、やるべきことを正しく行う。

お客様から見て、「**なるほどこれはSMLGならではの**」「**SMLGでなければならない**」と提供いただける商品とビジネスを展開する。

我々自身も、お客様も、SMLGがそれをするのは「必然だ」と思えることを実直に取り組んでいく。ただしそれは、けっして単に過去を踏襲するという意味ではなく、SMLGの100年、120年、更にその先に向けて、「なるほど」と思っただけの内容でありながら、**驚きと感動**も提供できる、**納得性のある変革・挑戦 = 「攻めの必然」**にも挑むということ。

流行りだから、市場が大きいから、みんなやっているから、今までそうしてきたから、成り行きだから、という必然性のない理由では取り組まない。あくまで、「SMLGがやるべきことなのか」「SMLGがやって納得性があるのか」が判断基準。そこには必ず**根拠と意思**が必要。

それが「**必然経営**」の意味するところ。

SUGINO

2036年の在りたい姿

2026年度予算・計画→VF29→2036
そしてその先の100年へ

「技術で世の中に貢献する」というSMLGの存在意義

それを全うした結果として得られる

営業利益率20%

「自分の仕事は世の中に一番貢献している」と言える会社に！

次の100年も世界に必要とされ続ける会社に！

地域社会と中堅企業が抱える課題

- ・次世代エネルギーをはじめとした革新的、大規模な技術開発や、新たな市場の創出は、地方の一民間企業だけでは難しい。
- ・産学官がばらばらに施策を実行。各地域、大学も独自の施策。重複も多い。
(産学連携、各種クラスター、ベンチャー支援など)
- ・社外の何処にどの様なリソースが有り、何処にどのようにアプローチしたらよいか分からない。(補助金、協業、共研など)
- ・少子化や都市部への人口流出による採用と定着の問題、ハラスメント対応や規制による人材教育の難しさが拡大している。
- ・事業の不透明化や実践機会の減少により技術が伝承できなくなっている。
(原子力発電など)

教育関係への関与

技術力の源泉は人材。

今後更に悪化が予想される求人環境に対し、
地域に根差す企業として地域の人材育成に積極関与。
大学・高専との共同研究や支援、高校・中学・小学校での
課外授業、教育委員会のワークショップなどを通じ、
地域人材の「質」の向上と、地方の中堅BtoBメーカーで
働くことの誇りや価値の浸透に努める。

最も行政・教育界にお願いしたいこと

大企業＞中堅・中小企業、都市部＞地方、普通科高校＞専門高校
大学＞高専、ホワイトカラー＞ブルーカラー など、
社会に存在する「**認識の壁**」を取り払う施策を切に望みます。

今後更に人口が減る中、**固定化・硬直化した認識**では、
地方も産業も国も**弱体化する**しかないと考えます。
個人個人の適性に合った学業や仕事を上下優劣の視点無く
選べる社会の実現をお願いします。



appendix

行政への要望①

- ①仕事に対する階層的価値観の払拭
多様な働き方、ダイバーシティ & インクルージョンの実現

必要なアクション

- ・ 中高の教育現場での学歴偏重主義の是正
特性に合った専攻を優劣の概念なく選択できる体制。
- ・ 職業倫理観の醸成や就業体験機会の拡大
就職選択以前の中高生の内から、社会や仕事を知る機会の提供。
- ・ 保護者、地域、企業の意識改革
生徒だけでなく、保護者や地域社会のバイアス払拭、地域社会からの機会提供、企業の待遇改善など。
- ・ 女性活躍を妨げる、男性や社会のマインドチェンジ
男性や社会が変わらず女性を登用しても、女性が男性化するだけ。

行政への要望②

- ② 水素、核融合、電池等、次世代エネルギー関係をはじめとする革新的な技術の開発及び実用化に向けた補助

必要なアクション

- ・ ルールメイキング、妨げとなっている規制の緩和、関連法の整備等の一体的推進
例：水素開発における各種規制の撤廃など。
- ・ 日本主導によるグローバル・デファクト・スタンダードの形成
例：EV充電規格、環境・CSR認証などのデファクト奪取など。

行政への要望③

③GXやDXの推進、生産性向上やイノベーション創出などに向けたハード・ソフト両面のサポート

必要なアクション

- ・ GX、DX対応やM&A時の補助、優遇税制の創設・拡充
M&A仲介手数料やM&A後の経営人材、GX、DX導入後の運営要員の獲得・育成等の資金に使える補助金の創設。
- ・ GXの認証制定や取得すべき国際基準の推奨
中堅企業には過負荷な、国やエリアでまちまちな環境規制への対応の負担軽減。
- ・ 中堅企業支援の各種補助金の創設・拡充
中小企業支援の拡大転用として、国プロなど大規模・高難度ではない中堅企業の研究開発やシステム導入等にも使える自由度の高い補助金の設定。

行政への要望④

④中堅企業の継続発展に必要な人材の育成とノウハウの提供

必要なアクション

- ・ 教育時間と機会の確保

教育や伝承に必要な労働時間の確保のための規制緩和と機会の継続供給（原子力発電技術など）。

- ・ 真のDX人材の育成

単なる技術としてのデータサイエンス教育ではなく、本質を理解し、ロジカルシンキングが出来る人材の育成。

- ・ 文理隔たりの無い教育

理系にこそマネジメント（マネタリング）が、文系にこそデータリテラシーが必要。
文系理系という枠組み撤廃も検討の余地あり。

- ・ 人材・ノウハウ等金銭以外の補助

社内人材の育成方法や、ノウハウの指導など、大学や公的機関の有する情報の無償提供。

行政への要望⑤

⑤公的機関発の施策に対するPDCAの実行と継続的支援

必要なアクション

- ・ KGI、KPIの設定とPDCA実行

結果の集計・報告でなく、途中途中での予実確認と乖離対策の実行支援。

- ・ やりきるまでの伴走

やりきる覚悟の有る企業に金銭、ノウハウ、優遇措置などの手厚い援助。